



Earth Rise

No.23

平成 26 年 12 月 11 日(木) 発行

矢掛高校の活動や地域の様子・E S D
等について発信していきます。

岡山県立矢掛高等学校長 川上公一



We ask the world leaders to unite and make education their top priority.

2014 ノーベル平和賞に寄せて

今、世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。ESD とは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む (think globally, act locally) ことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。「持続可能な開発」のために教育が極めて重要な役割を担うことについては、1992 年に開催されたリオ・サミットの際に認識され、2005 年から始まる『持続可能な開発のための教育の 10 年』が国連総会において満場一致で採択されました。その E S D の 10 年の最終年に当たる今年、岡山市と名古屋市で「持続可能な開発のための教育に関するユネスコ世界会議」が開催されたのです。

岡山市で開催されたユネスコスクール世界大会高校生フォーラムには、新しい ESD 世代の代表として世界 32 ヶ国から私たち高校生が集まり、「日常生活と社会において持続性を阻害しているものは何か」、「持続性を促進するために重要なものは何か」というテーマで身近な問題から話し合いを始め、共同宣言をまとめました。

フォーラムのキーワードは、” education”。各国の高校生が持続性を促進するために最重要なものとして教育を挙げてあげていたのです。問題を解決するために必要なものは教育です。特に、発展途上国において、教育を受ける権利を行使できないことが、持続発展を阻害していると熱く語っていました。

その 2014 年のノーベル平和賞に女子教育の権利を訴えるマララ・ユフスザイと児童労働の撲滅をめざすカイラシュ・サティアルティが選ばれたことは、大変象徴的な出来事でした。2 人の立ち位置・主張こそ E S D の本質なのです。2 人の受賞記念スピーチでは、教育の意義が熱く語られていました。

マララ・ユフスザイのスピーチ (抄)

My great hope is that this will be the last time we must fight for the education of our children. We want everyone to unite to support us in our campaign so that we can solve this once and for all. Like I said, we have already taken many steps in the right direction. Now is the time to take a leap.

It is not time to tell the leaders to realize how important education is -they already know it- their own children are in good schools. Now it is time to call them to take action. We ask the world leaders to unite and make education their top priority.

私の大きな希望は、子供の教育のために私たちが闘わなければならないというのが、これで最後になることです。私は、皆様に子供の教育についての問題をきっぱりと解決できるよう私たちのキャンペーンをいっしょに支えていただきたいです。私が言ったように、私たちはすでに正しい方向に多くの歩みを進めています。今こそ躍進するときです。指導者に教育の重要性を理解させるときではありません。(彼らはすでに気づいています。)彼らの子供たちはよい学校に通っているのです。今は彼らに行動を呼びかけるときです。私たちは、世界の指導者が結束し、教育を最優先にすることを求めます。

カイラシュ・サティアルティのスピーチ (抄)

There is no greater violence than to deny the dreams of our children. The single aim of my life is that every child is: free to be a child, free to grow and develop, free to eat, sleep, see daylight, free to laugh and cry, free to play, free to learn, free to go to school, and above all, free to dream.

子どもたちの夢を否定するほど、大きな暴力はない。

私の人生の唯一の目標は、子供たちが、子供らしく、育ち成長し、食べ、眠り、日差しを仰ぎ、笑い泣き、遊び、学校へ行き、そのような自由をもつことです。そして、とりわけて夢見る自由をもつことです。